

## SNS を活用した地区社協活動について

### ②玉川学園地区社会福祉協議会（町田市）

設立年月：2011 年 5 月（平成 23 年 5 月）

※玉ちゃんサービス…2016 年 4 月（平成 28 年 4 月）スタート

圏 域：玉川学園地区（玉川学園 1～8 丁目、東玉川学園 1～4 丁目）

構成人数：約 60 名（ボランティアを含む）

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 SNS 活用内容 | 高齢者の見守りを行うための 1 つの手法として活用。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2 活用媒体     | L I N E（ラインアプリを導入）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3 きっかけ     | 玉ちゃんサービスを行っている中で独居高齢者が自宅で倒れているところを対応したという事例が数件あった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4 開設理由     | 他都市の見守り方法等を研究していく中で、NPO 法人エンリッチの民間団体助成事業のテスト試行の提案を受け「L I N E を使った独居高齢者の見守り」事業に参画。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 5 開始時期     | 2022 年 5 月（令和 4 年 5 月）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 6 どこで      | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 7 どのように    | ラインアプリを導入した見守り活動を実施。<br>（例）一人暮らしの親と遠方に暮らす子、親の近くにいる地元の地区社協メンバーが L I N E グループで繋がり、日々の安否確認や緊急時の連絡、対応などを行っていく。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 8 誰が       | ・アプリ内で安否確認メッセージを自動送信（送信時間、頻度も選べる）。<br>①通知から 24 時間安否確認されない場合は、再度確認通知を送信。<br>②再送後 3 時間以上経過しても確認が取れない場合は、登録者本人に直接連絡。<br>③直接電話でも安否確認が取れなかったとき、ご家族や親しいご友人などに連絡。                                                                                                                                                                                                                   |
| 9 更新手続き    | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 10 立上げ経費   | 0 円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 11 継続経費    | 0 円と 500 円／月（グループ全員）のプランあり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 12 その他     | お話を伺った担当の岩崎さんの見守りの方法の考え方<br>①さりげない見守り…ご近所さん、地域のさまざまな団体による「いつもと違う」「何かおかしい」「郵便が溜っている」「雨戸が閉じたまま」「夜になっても電気がつかない」「昼になっても電気がつきっぱなし」といった気づき。<br>②積極的にさりげない見守り…交流の場や、ボランティア活動、サロン等で、自然にお互いに見守りあう、理想的な見守り。<br>③積極的な見守り…見守りされる高齢者と話し合い実施される。その人の事情を考慮し、いろいろな見守りを組み合わせることが理想。<br>・テクノロジーを活用する方法…緊急通報システム、センサーやカメラ等を利用した見守り。<br>・定期的な連絡や訪問…電話や訪問による見守り。<br>・コミュニティとのつながりを促進…趣味のサークル、サロン等 |

ホーム

横浜

川崎

相模原・東京多摩

県央

横須賀・三浦

湘南・県西

町田版

公開：2022年4月28日

X

LINE

印刷

玉川学園地区社会福祉協議会

## スマホアプリ利用し地域見守り

5月2日にコミセンで勉強会

社会

玉川学園地区社会福祉協議会（剣持勝会長）はこのほど、スマホアプリ「LINE」を使った独居高齢者の見守り事業を実施することに決めた。

同協議会が行う事業の一つに、地域住民同士で日常生活を支援する「玉ちゃんサービス」がある。家事や庭仕事、通院や買い物の付き添いなど様々な困りごとを解決に向かわせるサービスで、現在約60人の利用者とほぼ同数の協力者（有償ボランティア）がいる。主に高齢者が関係する内容が多く、昨年度はその同サービスの中で独居高齢者が自宅で倒れているところに対応したという事例が2件あった。「この地域においても独居高齢者の孤独・孤立は深刻で、何か対策しなくてはと考えていた」と玉ちゃんサービス推進担当の岩崎克己さん（75）は話す。そんな中で、NPO法人エンリッチの民間団体助成事業のテスト試行の提案を受け「LINEを使った独居高齢者の見守り」事業に参画。「運用がうまくいけば孤独・孤立の解消の一つの手段として役立つのでは」と取り入れることにした。例えば一人暮らしの親と遠方に暮らす子、親の近くにいる地元の地区社協メンバーがLINEグループで繋がり、日々の安否確認や緊急時の連絡、対応などを行っていく。



LINEの「つながり」を見せる岩崎さん（画像を一部加工）

市内で初の取り組みのため、ワーキングチームを作り活動を推進していく。チーム発足に向けた勉強会を5月2日（月）午後2時～4時に玉川学園コミュニティセンター多目的ホールで開く。現在、参加者を募集している。

問い合わせは岩崎さん【携帯電話】080・6584・7676へ。



玉川学園地区社会福祉協議会の

## 玉ちゃんサービス

「日常のちょっとした困りごと」を、協力者として事前に登録している地域ボランティアがお手伝いします。

**ちょっとした困りごと、まずは電話でご相談ください。**

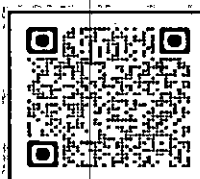
- ちょっと高い所にある電球を交換してほしい。
- 取扱説明書が読みにくいので助けてほしい。
- 押入れや棚の整理・処分を手伝ってほしい。
- ひとりでは動かせない家具の移動を手伝ってほしい。
- 病院や買い物に一緒に行ってほしい。
- 散歩はひとりでは心細いので付き添ってほしい。
- 以前は自分でやっていた庭の手入れや簡単な庭木カットをしてほしい。
- 掃除・洗濯や落葉掃きなどの家事を手伝ってほしい。

利用料金

500円 / 30分  
(登録料: 1500円/年)

対象地域

玉川学園  
東玉川学園



《地区社協HP》



《プロボノプロジェクト紹介記事》

「玉ちゃんサービス」直通

**080-2149-1757**

玉川学園地区社会福祉協議会

**042-810-2062**

サービスの

# メリット

簡単

- 1 LINEを使っていれば、友達登録だけ  
単身版は無料で使えます!

簡単

あなたの危機を

- 2 いち早く発見

気軽

- 3 使うのは LINE だけ!

パソコン、スマホもOK

簡単

- 4 安否確認は OK をタップだけ!

※緊急時に備え、電話番号の登録をお勧めします。

グループ版は

- 5 何人でも利用できる!

- 6 個人情報必要なし!

※グループ内でお互いの無事を確認

ひとりぐらし

「こんな心配ありませんか？」

- ✓ 自宅でもし気を失って倒れたとき、だれが気づくの?
- ✓ 孤独死事件のような悲惨な状況にならないためには?
- ✓ 愛犬とふたりぐらし。もしものとき愛犬が心配。
- ✓ 自分の健康が心配。もしものときどうなるの?
- ✓ もしもの時、腐敗した身体よりきれいな身体で発見されたい

エンリッチのサービスが解決します!

# サービス

単身版・グループ版・比較表

| 単身<br>見守り<br>サービス | グループ<br>つながり<br>サービス                   |
|-------------------|----------------------------------------|
| 無料                | 月額 500円(税別)<br>又は、お徳な<br>年払 5,000円(税別) |
| 1 名               | LINE 規定に準拠<br>グループ内                    |
| エンリッチ             | グループ<br>参加者同士                          |
| 1~3 日<br>任意の時間帯   | 1~3 日及び<br>5,7,14,30 日の任意の時間帯          |
| 本人 + 近親者          | 不要                                     |

料金

人数

安否確認

通知間隔

個人情報

こんな人におすすめ!

単身版は

- ✓ 家族から離れて暮らす単身の方
- ✓ 病を患っているひとりぐらしの方

グループ版は

- ✓ 親子三世代の相互の見守りに!
- ✓ 同窓生、クラブグループ同士
- ✓ 生活支援コーディネータとケア対象の高齢者
- ✓ ケアマネージャーと要支援者
- ✓ 物件オーナー・管理人と単身入居者



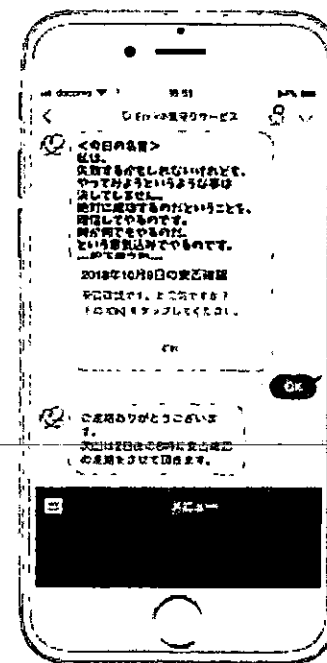
友だち追加



を使った

# 見守りサービス2

51歳で単身の弟の孤独死が  
きっかけで作られたサービス。



新

ひとり暮らしに  
心強い味方。



2023/01ver



サービス紹介HP

特定非営利活動法人 エンリッチ

〒133-0051

東京都江戸川区北小岩2-18-16

Mail:info@enrich.tokyo

https://www.enrich.tokyo

## 安否通知サービスって何？

## 導入事例紹介

### サービス提供の背景

近年、病気や加齢等のリスクを抱えながらひとり暮らししている方の孤独死が問題になっています。60歳以下の割合40%で発見までの平均日数が14日を超えています。。

そんな孤独死の問題を、認知度・普及率が高く使い勝手の良いLINEを使って、ご家族や仲間同士で解決することを目指したのが安否通知サービス「コネクトハート」です。

男女別死亡年齢の構成比 (n=5,045) ※年齢が不明なデータを除く

|    | 20代  | 30代  | 40代   | 50代   | 60代   | 70代   | 80代～ | 合計     | 高齢化率の割合 |
|----|------|------|-------|-------|-------|-------|------|--------|---------|
| 全体 | 210  | 325  | 511   | 871   | 1,545 | 1,052 | 431  | 5,045  | —       |
| 割合 | 4.2% | 6.4% | 10.1% | 19.2% | 30.6% | 20.9% | 8.5% | 100.0% | 40.0%   |
| 男性 | 130  | 243  | 409   | 653   | 1,368 | 875   | 295  | 4,181  | —       |
| 割合 | 3.4% | 6.1% | 9.8%  | 20.4% | 34.1% | 21.8% | 7.4% | 100%   | 39.3%   |
| 女性 | 72   | 82   | 102   | 118   | 177   | 177   | 136  | 864    | —       |
| 割合 | 8.3% | 9.5% | 11.6% | 13.7% | 20.5% | 15.7% | 100% | 41.3%  | —       |

地域別孤独死者の平均年齢 (n=4,933)

|           | 北海道<br>東北 | 関東    | 北陸<br>中部 | 関西    | 中国<br>四国 | 九州<br>沖縄 |
|-----------|-----------|-------|----------|-------|----------|----------|
| 孤独死時の平均年齢 | 58.1歳     | 62.8歳 | 59.1歳    | 61.5歳 | 58.4歳    | 57.2歳    |
| 発見までの平均日数 | 17日       | 17日   | 15日      | 14日   | 17日      | 16日      |

2021年6月：一般社団法人日本少額短期保険協会  
第6回孤独死レポートより抜粋

### 離れた家族や親族

疎遠になっている家族や親族の間で、もしもの場合のために一定の距離を保ちながら利用。むしろこのサービスをきっかけに連絡を取り合うようになり関係が好転。

### 高齢化が進む集合住宅

過疎化が進み、取り残されつつある単身高齢者が近くに親族もなく、自治会で誰も取りこぼさない社会を目指して、支え合いの活動に利用。

### 外部との接触を望まない方

地域の単身者を支える活動をしている方による、ひきこりがちな方のもしもの早期発見のために活用。  
深入りせず一定の距離を保ちつつ緊急時の早期発見が可能に。

### ひとり暮らし

こんな **心配** を抱える方に

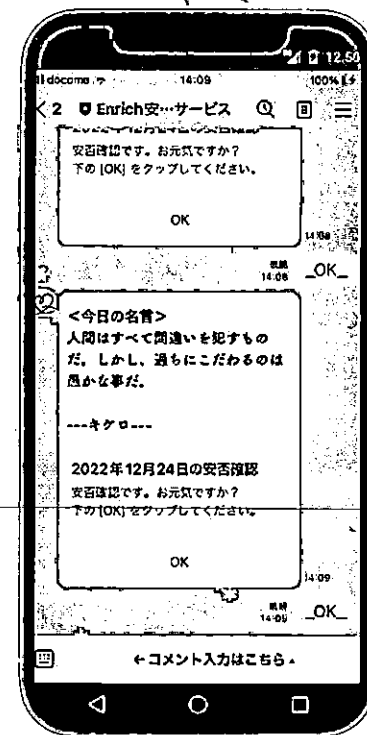
- ✓ 倒れても気付いてくれる人がいないかも...
- ✓ 孤独死のニュースが他人事とは思えない...
- ✓ もしもの時は早く見つけて欲しい...
- ✓ もしもの時に同居している愛犬が心配...

たいせつな人の  
"もしも"をLINEで  
知らせるサービスです

LINE で気軽に！

## 安否通知サービス コネクトハート

51歳で単身の弟の孤独死が  
きっかけで作られたサービス



心ひとり暮らしに  
強い味方



特定非営利活動法人 エンリッチ

〒133-0051

東京都江戸川区北小岩 2-18-16

e-mail: info@enrich.tokyo

Web: https://www.enrich.tokyo



Enrich your life